



一本道

西小学校通信 No.13

令和6年7月10日

校長 吉田憲一

学校教育目標 「元気と挑戦で 成長を」

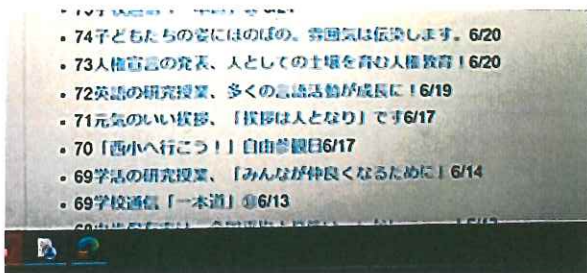
1 西小HP視聴、1日平均何カウント？

7月2日、ふと次のようなことを思い調べてみました。

西小ホームページ(HP)を、1日どのくらいの方が見ておられるのだろうか？

そこで、HPのカウンタをもとに計算してみると、1日平均209カウントでした。「校長ブログの配信」と「学校通信『一本道』の発行」のねらいは、次のとおりです。

子供たちや先生方の「元気な姿」と「挑戦する姿」、そして「成長する姿」を、家庭と地域に発信すること



これからも、ご愛読いただき、ご支援とご協力、そして大きな応援を宜しくお願いいたします。

2 給食の残菜激減の理由、「一口協力」

7月2日、給食センターの先生から次のようなうれしい数字をいただきました。

西小の昨年度の残菜は1日4kg
今年は多くて1kgで、残菜0の時もある。

給食の残菜激減の理由の1つが「一口協力」と聞き、早速、その様子を5年1組に参観に行きました。当番が給食を配った後、個人での量の増減をします。その後、もし残ったならば、写真のように担任の先生が、食器缶を抱えて、「一口



協力」してくれる子供に、ついで回るので。クラスでやり方はいろいろあると思いますが、全学級で全員の先生方が、「一口協力」等の食育指導をされていることが、残菜激減の大きな理由です。

私の箸に「食は体をつくる」という言葉が書かれています。子供たちも、私たち大人も、食でも「元気力」を高めていきたいものです。

3 現場に行き感じた「戦争と平和への思い」5名紹介

7月10日、私の机に感想文が置いてありました。昨日、6年生が行ったひみつ基地ミュージアムの方へのお礼の感想です。現場に行き感じた「戦争と平和への思い」です。5人の感想の一部を紹介します

山村かいと君「魚雷調整場や兵舎壕を見学して、昔の人の力や昔の人の発想がすごいなと思いました。」

川越ちほりさん「特に魚雷調整場が心に残っていて、実際に来てみないと分からない迫力を感じました。ここに避難していた人のことを思うと胸が痛くなりました。」

岩本ゆあさん「今回で2回目です。1回目は兄弟で行き、ガイドさんがいなかったから見るだけだったけど、今回は、1回目よりも詳しく知れて良かったです。」

深水ゆうた君「自主学习でも、ひみつ基地ミュージアムで習ったことを生かしたいと思います。夏休みの「こうもりのヒミツ展」に行こうと思います。」

小柿みづきさん「見学に行って、いろいろな人が亡くなって、悲しんだ人々がたくさんいることが分かりました私も戦争のない世界にしたいです。」



西小HP

